

報告事項ア

令和5年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査結果（得点状況等）について

令和5年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査結果（得点状況等）について、別紙のとおり報告します。

令和5年4月19日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

令和5年度鳥取県立高等学校
入学者選抜学力検査における得点状況

鳥取県教育委員会

令和5年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査における得点状況

1 教科別得点の平均点及び総得点の平均点(全日制課程)

年 度	国語	社会	数学	理科	英語	総得点
令和5年度	30.9	31.8	26.9	26.0	28.2	143.8

令和5年度入学者選抜学力検査5教科受検者数 2,663人
各教科50点満点、合計250点

(参考) 過去13年間

年 度	国語	社会	数学	理科	英語	総得点
令和4年度	31.8	24.7	26.7	28.2	25.8	137.1
令和3年度	29.0	35.3	24.4	27.0	28.7	144.4
令和2年度	27.7	28.5	25.7	27.0	28.4	137.3
平成31年度	26.9	30.1	27.3	31.3	24.6	140.3
平成30年度	29.9	30.4	24.6	28.6	27.7	141.2
平成29年度	28.3	27.6	27.4	31.4	29.1	143.8
平成28年度	27.9	27.4	25.2	30.6	30.3	141.3
平成27年度	29.6	33.4	26.4	27.2	28.9	145.5
平成26年度	25.6	24.9	28.5	26.7	30.7	136.3
平成25年度	23.5	27.1	27.5	25.2	27.1	130.5
平成24年度	25.3	30.0	22.8	29.2	26.6	133.9
平成23年度	24.9	29.1	23.2	29.1	26.8	133.1
平成22年度	29.1	30.2	26.5	25.4	22.2	133.3

2 各教科及び総得点における得点分布(全日制課程)

【各教科における度数分布】

(人)

得点	教科	国語	社会	数学	理科	英語	
0	～	2	1	0	11	5	0
3	～	4	1	4	24	3	10
5	～	6	5	4	30	23	28
7	～	8	11	9	48	44	56
9	～	10	14	19	58	81	87
11	～	12	25	28	76	120	133
13	～	14	51	49	93	143	119
15	～	16	61	52	114	162	122
17	～	18	79	78	115	147	119
19	～	20	101	83	147	203	128
21	～	22	128	105	162	158	104
23	～	24	167	136	164	162	121
25	～	26	155	155	188	163	130
27	～	28	210	176	191	131	122
29	～	30	195	191	203	160	158
31	～	32	208	192	214	156	142
33	～	34	226	227	172	157	161
35	～	36	241	215	171	126	152
37	～	38	221	229	149	140	152
39	～	40	184	230	117	127	150
41	～	42	153	190	71	110	145
43	～	44	132	161	74	67	128
45	～	46	63	87	35	44	99
47	～	48	28	36	33	24	75
49	～	50	3	7	3	7	22
受検者数		2,663	2,663	2,663	2,663	2,663	

【総得点における度数分布】

総得点	人数		
0	～	5	0
6	～	10	0
11	～	15	0
16	～	20	0
21	～	25	1
26	～	30	3
31	～	35	4
36	～	40	6
41	～	45	15
46	～	50	10
51	～	55	25
56	～	60	28
61	～	65	30
66	～	70	30
71	～	75	39
76	～	80	51
81	～	85	62
86	～	90	73
91	～	95	64
96	～	100	80
101	～	105	58
106	～	110	81
111	～	115	86
116	～	120	111
121	～	125	87

総得点	人数		
126	～	130	99
131	～	135	99
136	～	140	97
141	～	145	101
146	～	150	91
151	～	155	100
156	～	160	104
161	～	165	82
166	～	170	84
171	～	175	96
176	～	180	96
181	～	185	107
186	～	190	80
191	～	195	88
196	～	200	91
201	～	205	83
206	～	210	75
211	～	215	66
216	～	220	32
221	～	225	26
226	～	230	15
231	～	235	7
236	～	240	0
241	～	245	0
246	～	250	0
受検者数		2,663	

令和5年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査の出題のねらいと分析

【 国 語 】

<出題のねらい>

知識及び技能を問う問題から総合的な思考力・判断力・表現力を問う問題まで幅広く出題した。

<分析>

- ・基礎的・基本的な言語事項を問う問題においては、漢字の読み・書きに関する問題で正答率の低いものが見られた。
- ・記述問題（10～60字等、指定された文字数で解答するような問題）においては、昨年度に比べ、正答率はやや上昇したが、誤答率・無答率もともにやや上昇している。
- ・古文における読みの問題は正答率が低かったが、内容理解の問題は正答率が高かった。
- ・目的や場面に応じて話すこと・聞くことについて理解力をみる問題においては、正答率が高かった。
- ・日頃の学習の場でも、実際に言葉を通じて伝え合う言語活動を積極的に取り入れたい。
- ・また、記述問題及び作文に関しては、与えられた条件に従って、自分の考えを文章にまとめる力を育成していく必要がある。

【 社 会 】

<出題のねらい>

社会的事象に関する基礎的・基本的な知識や概念の理解を問う問題、既習の知識を活用し、社会的な見方・考え方を働かせながら、様々な地図、グラフ、表、資料を適切に読み取り、思考・判断・表現する問題を出題した。

<分析>

- ・基礎的・基本的な知識や概念を問う問題については正答率が高かった。
- ・一方、グラフや表から地域的特色をつかむ問題や、資料をもとに、既習の知識を活用し、思考・判断し説明する問題の正答率が低かった。
- ・地理的分野では、世界の各州の地域的特色や課題、また、世界の各地域と日本との結び付き等に着目し、多面的・多角的に考察する力が求められる。
- ・歴史的分野では、各時代の特色の適切な理解とともに、特に近現代において、世界の動きとの関連に着目しながら、社会の変化の様子を的確に捉えることが重要である。
- ・公民的分野では、現代の社会生活や国際社会の動向と関連付けながら、課題について公正に判断し、表現する力が必要である。
- ・小学校での学びや三分野相互、他教科・他領域との関連等も踏まえ、持続可能な社会に寄与する資質・能力を育成する授業づくりが求められる。

【 数 学 】

<出題のねらい>

基本的事項を問う問題を多く出題するとともに、既習の基本的な概念や原理・法則を生かして、見通しをもって問題を分析し、処理する力をみる問題、数学的な見方・考え方を働かせて論理的に考察する力をみる問題を出題した。

<分析>

- ・基本的な計算や数値を求める問題、データの活用についての問題は正答率が高く、学習の成果が上がっている。
- ・根拠を記述する問題、図形の性質をもとに考える問題、複数の観点から発展的に思考する問題の正答率は低かった。
- ・このことから、基礎となる事項のより一層の定着を図り、それらを基に根拠や理由に着目して考えさせる指導、様々な事象を数理的に捉え、論理的、統一的・発展的に考えさせる指導を、さらに充実させることが重要である。

【 理 科 】

<出題のねらい>

基礎的・基本的な知識を問う問題や、観察・実験の結果や資料を読み取り考察する問題を出題した。

<分析>

- ・重要語句を問う問題は、昨年同様正答率が高かった。
- ・また、自然の事物・現象について基礎的・基本的な知識を問う問題についても正答率は高かった。
- ・しかし、実験や観察の結果をベン図やグラフに整理して表現したり、既習の知識を活用して結果を推論したりすることに課題が見られた。
- ・また、根拠を適切に示しながら、現象を論理的に説明する力にも課題が見られた。
- ・授業において、既習の知識と関連付けながら、見通しをもって観察・実験を計画、実施し、得られた結果を考察するときに、データを分析し、根拠を明らかにして説明したり、思考ツールやグラフ等を用いて論理的に相手に伝え、対話することで、自らの考えをより深めたりする活動が求められる。
- ・科学的に探究する活動を重視した授業を実施し、科学的な思考力・判断力・表現力等の育成を目指した指導の工夫が必要である。

【 英 語 】

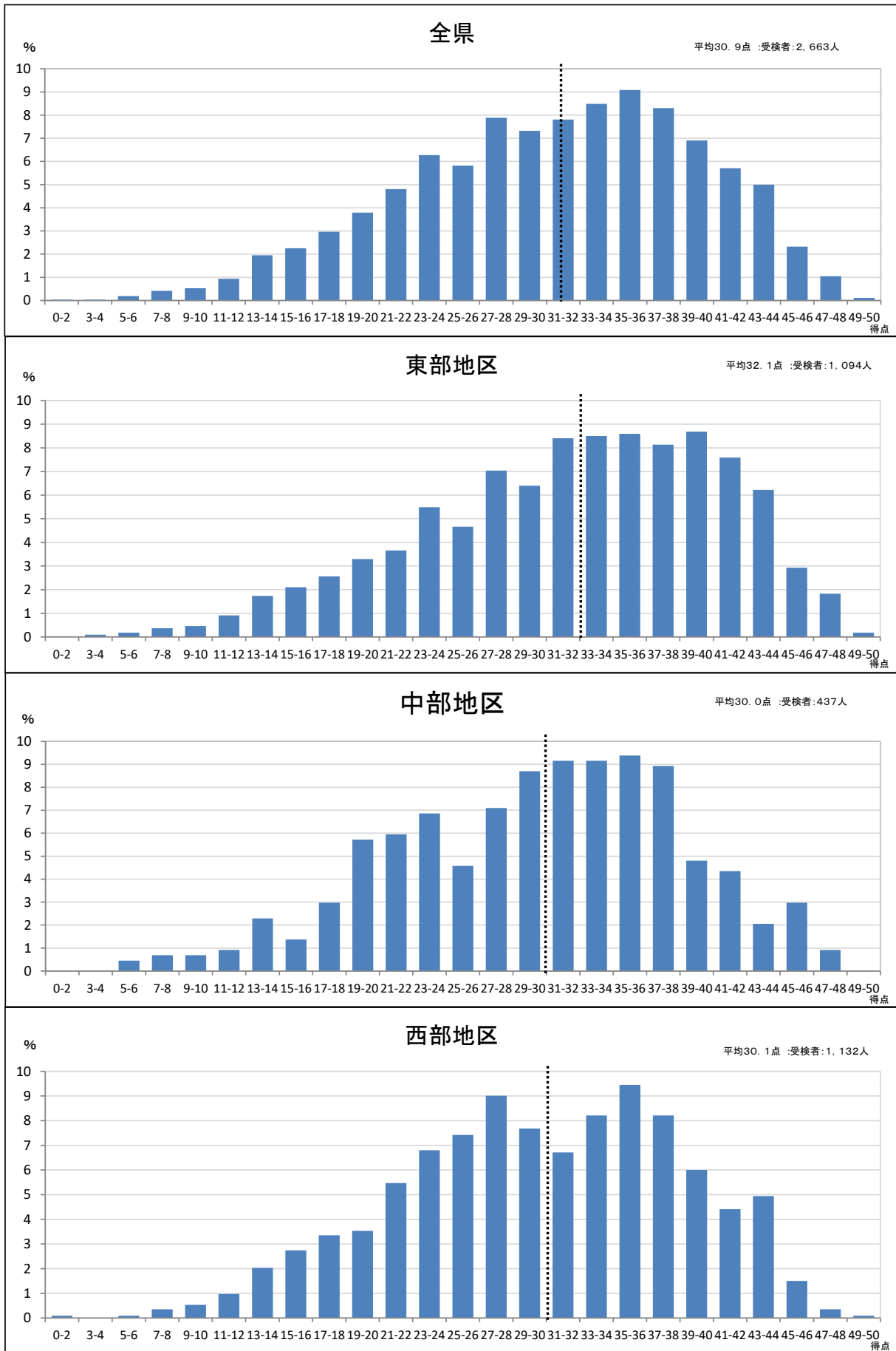
<出題のねらい>

「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の3つの領域を中心に、知識及び技能の定着に加え、それらを活用した思考力、判断力、表現力等を測るために、実生活で見られる会話や日常的及び社会的な話題に関するまとまりのある文章を題材に出題した。

<分析>

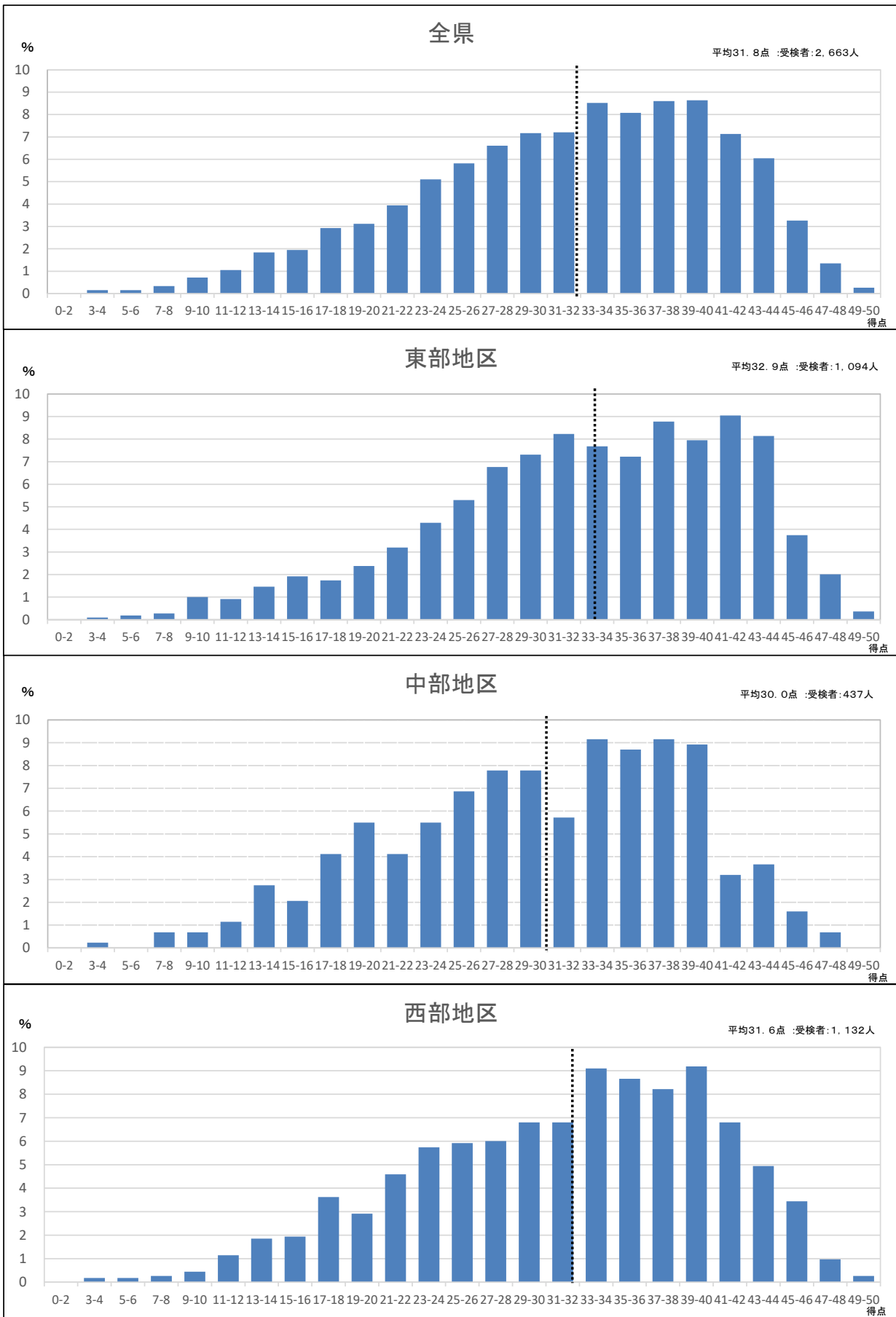
- ・文法や語彙を活用する力をみる問題や、まとまりのある文章を読んで、必要な情報を正確に読み取る力を見る問題の正答率は高かったが、聞き取った内容に適切に応答する問題や、授業で慣れ親しんだ表現を正確に書いたり、読んで理解したうえで、自分の考えを英語で書いて表現したりする問題の正答率が低かった。
- ・今後は、普段の授業において、実際のコミュニケーションを意識した場面を設定したうえで、生徒が習得した知識等を活かして思考・判断・表現しながら複数の領域を統合した言語活動に取り組む機会の充実が求められる。

令和5年度 入学者選抜学力検査における得点状況【国語】



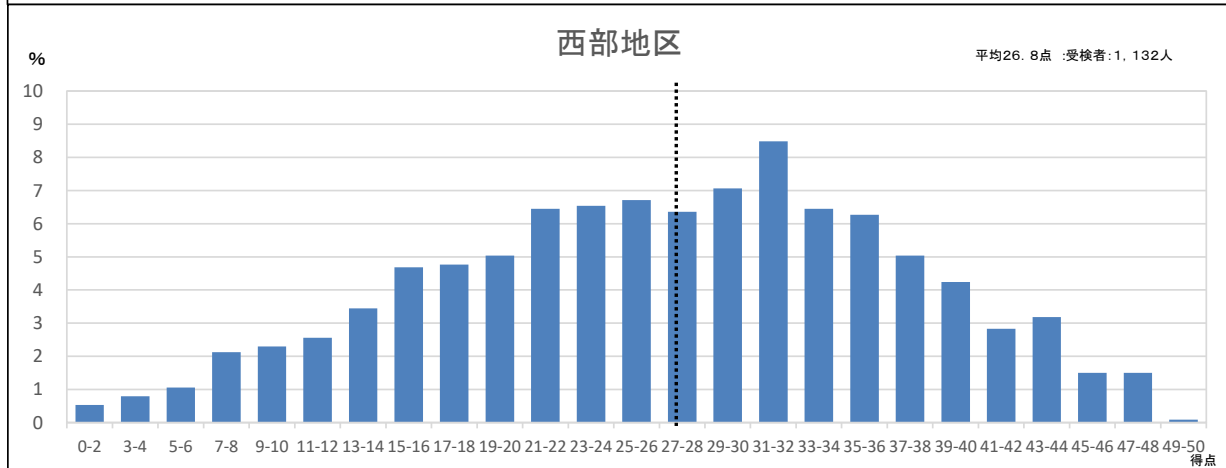
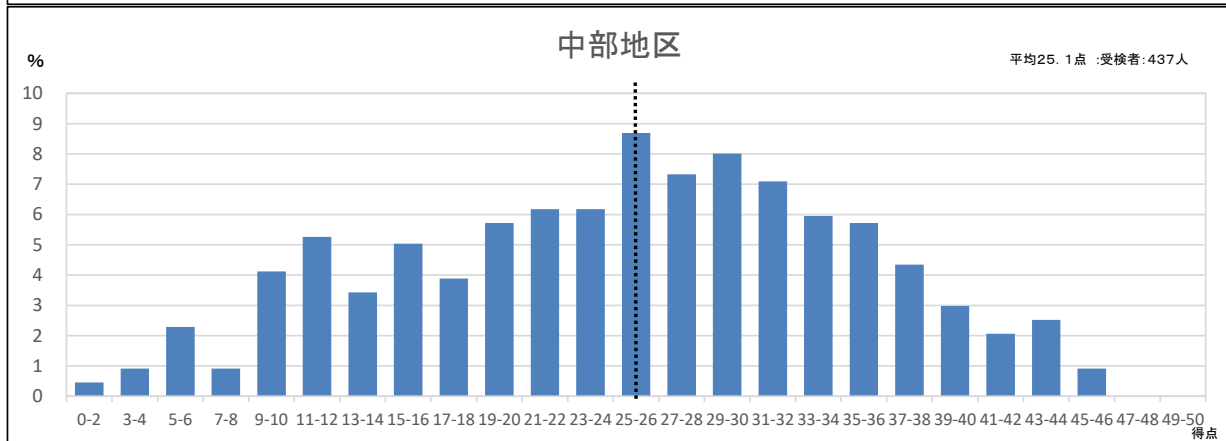
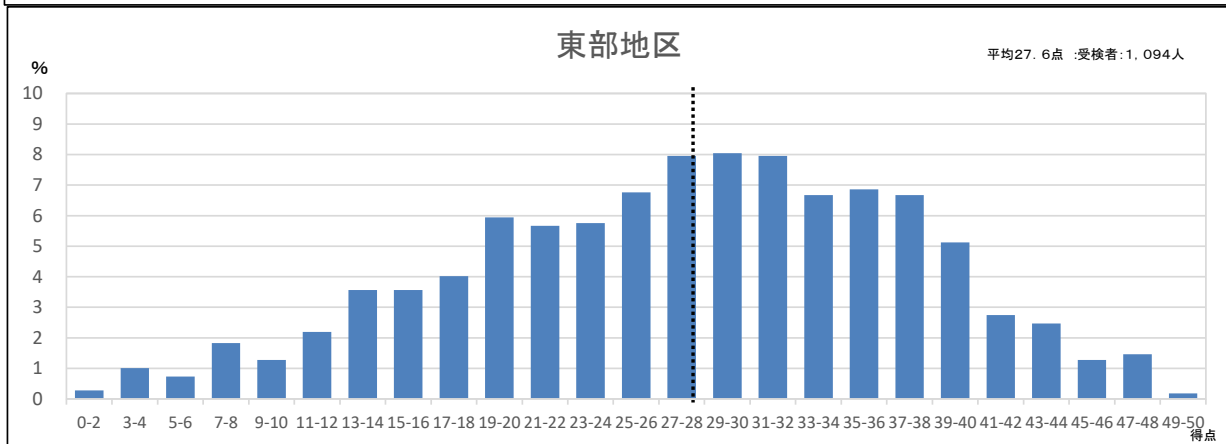
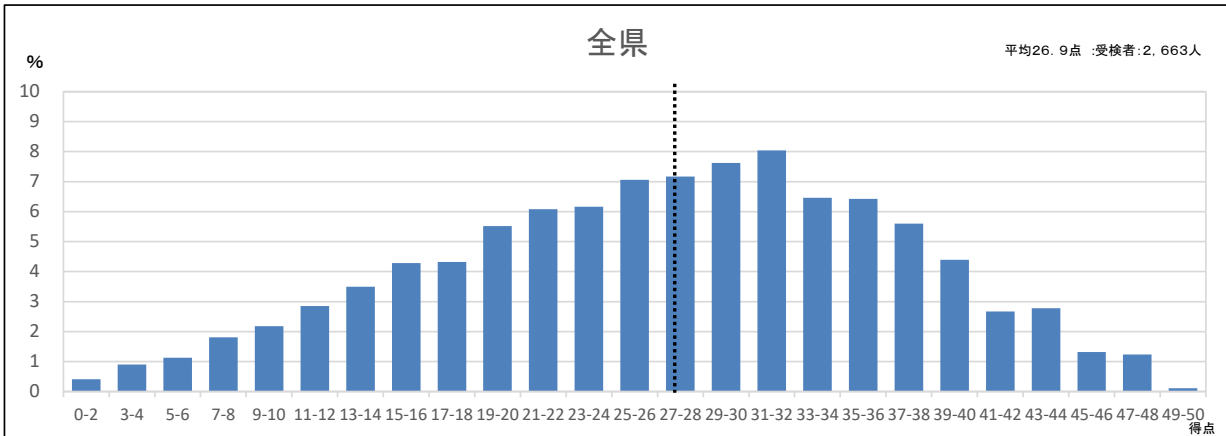
※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和5年度 入学者選抜学力検査における得点状況【社会】



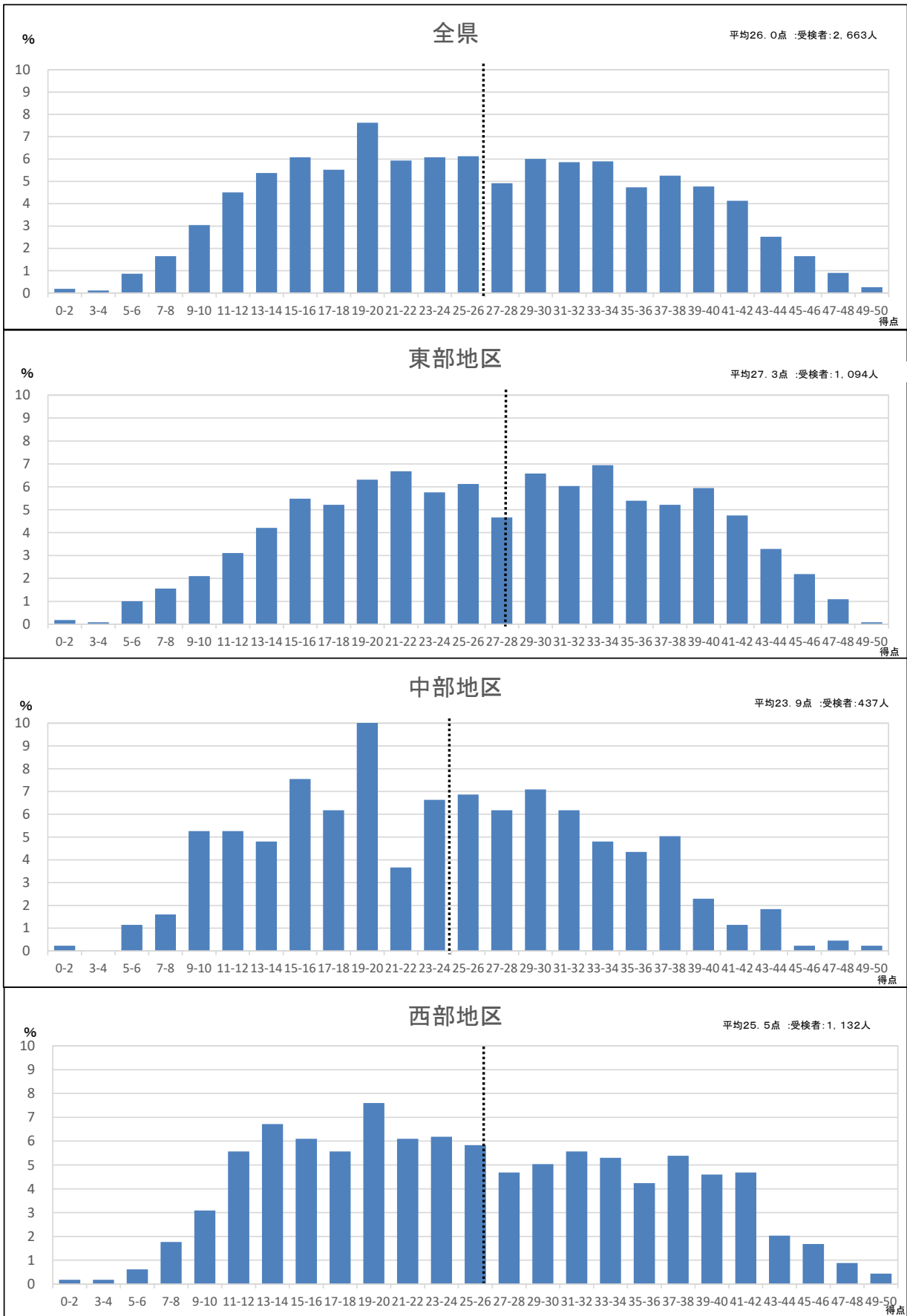
※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和5年度 入学者選抜学力検査における得点状況【数学】



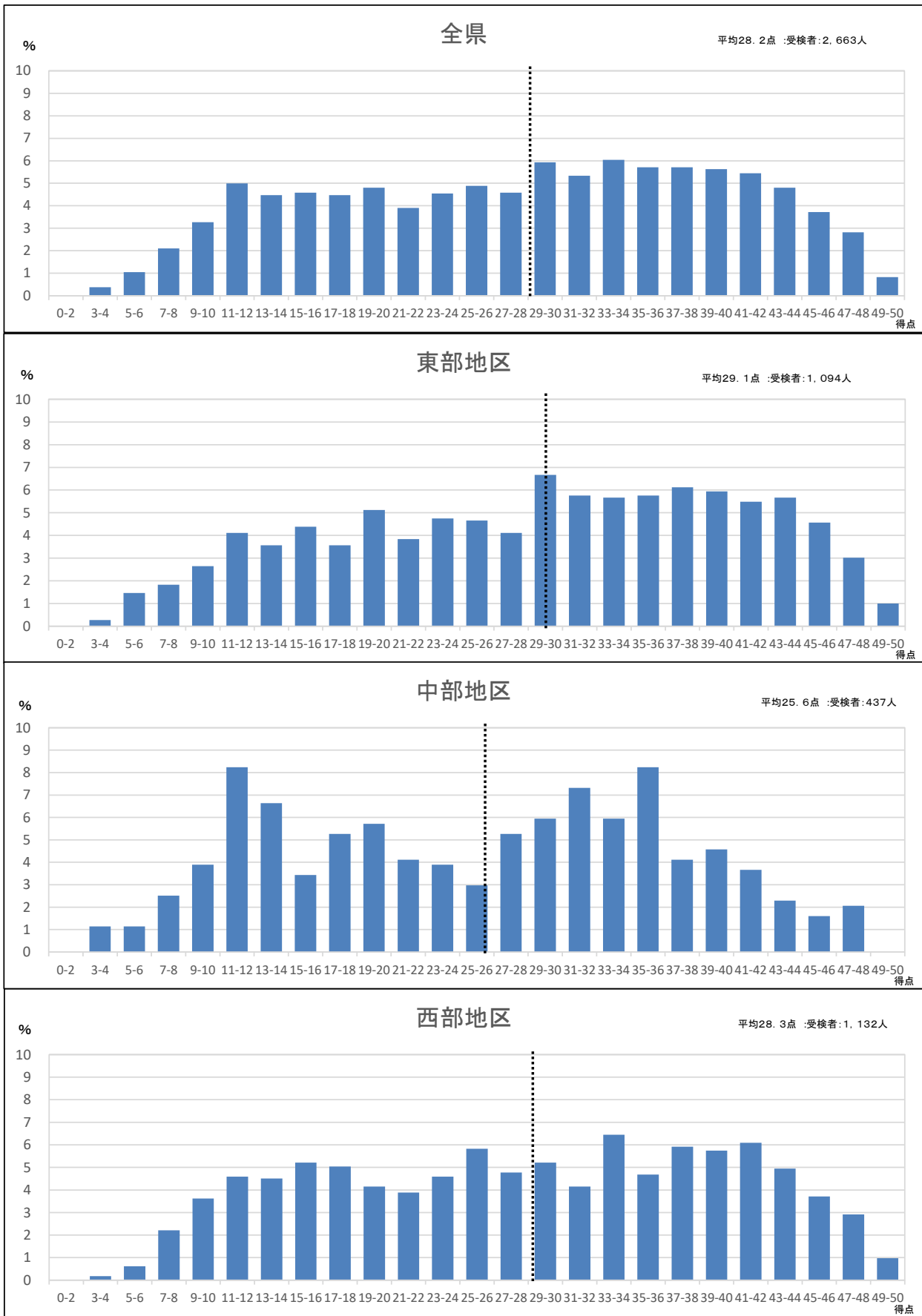
※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和5年度 入学者選抜学力検査における得点状況【理科】



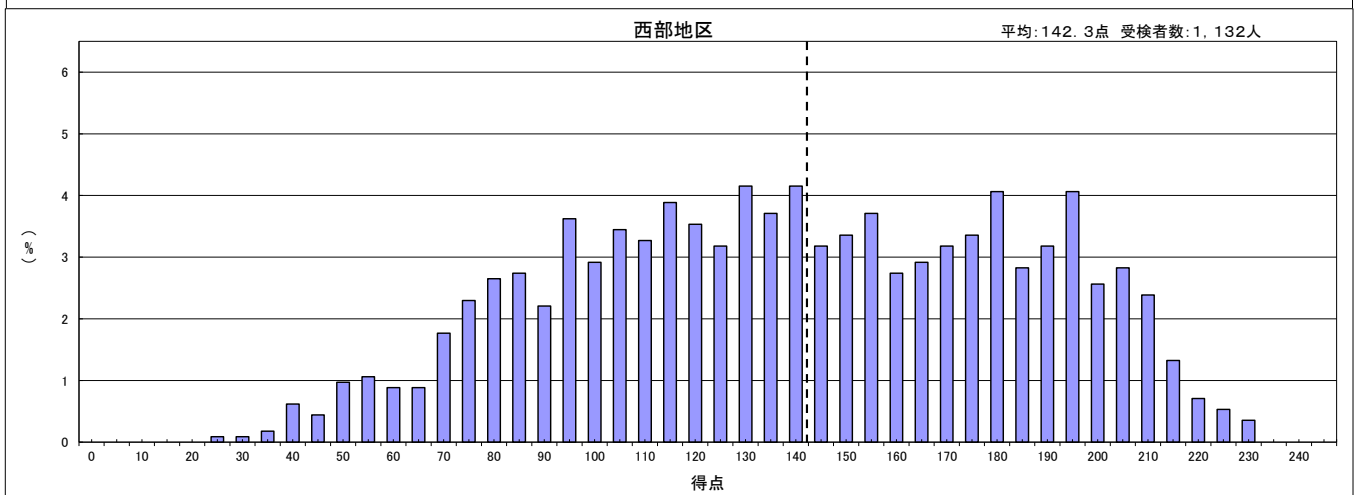
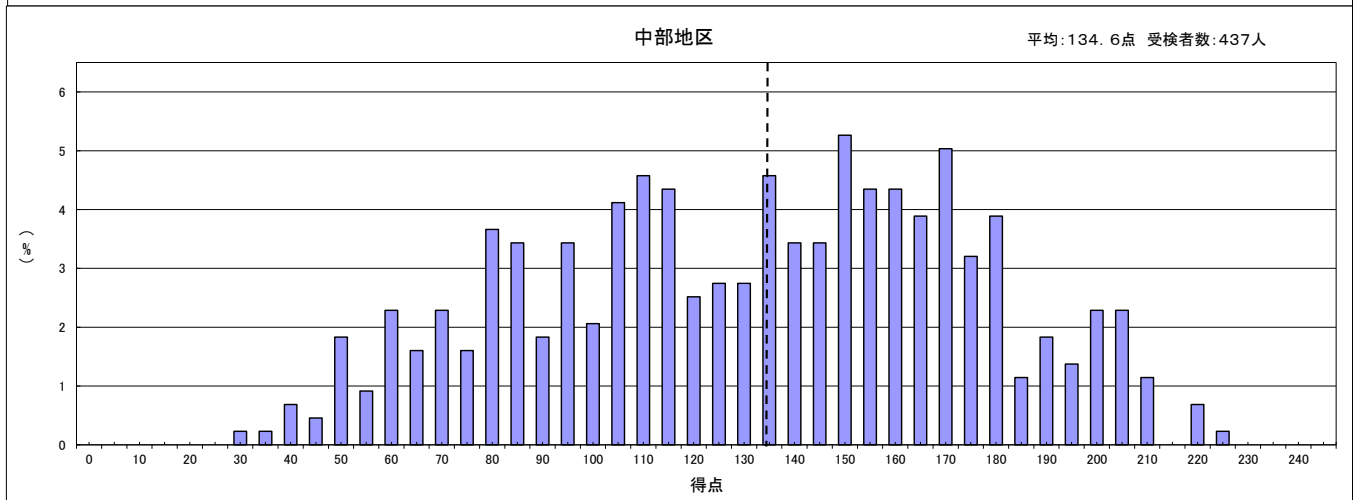
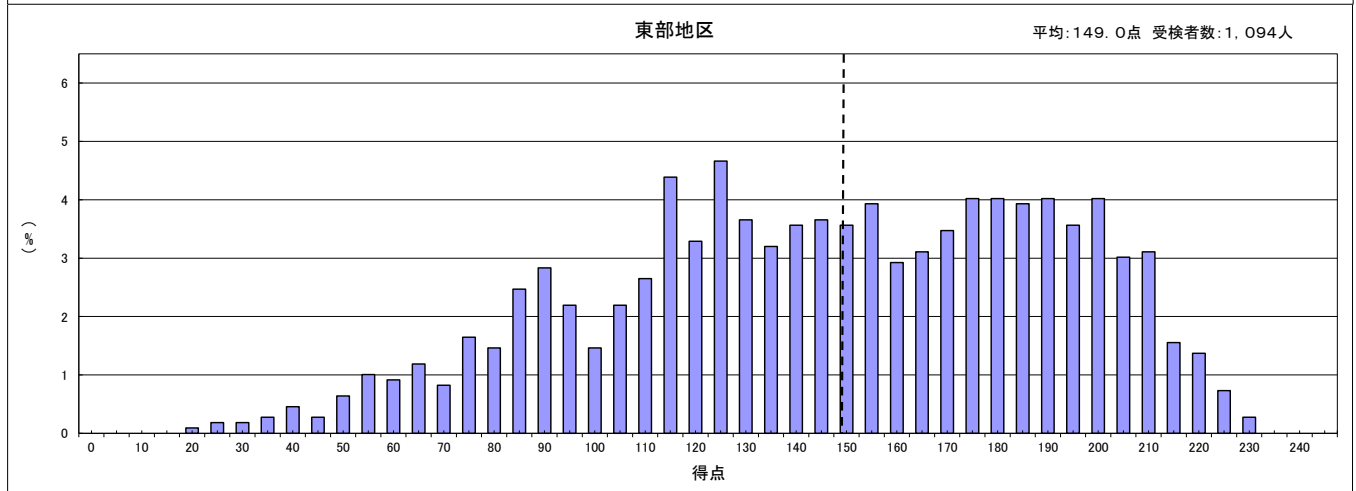
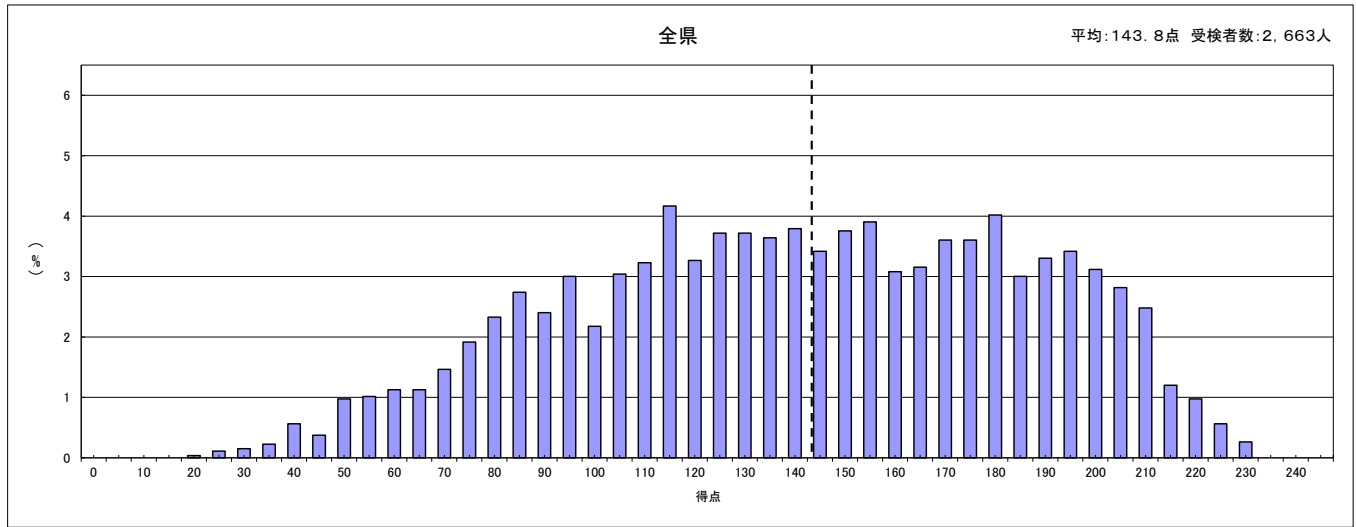
※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和5年度 入学者選抜学力検査における得点状況【英語】



※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和5年度 入学者選抜学力検査における得点状況【総得点】



※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。